

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 096	提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
要望問題名 ブドウの根域制限栽培法の確立	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 近年、環境問題から果樹の施肥量の低減や果実の高品質化をねらい根域を制限し、適期に適量の施肥で水分調整とあわせた土壌管理技術として養液土耕的栽培が検討されている。 特にブドウは他の果樹よりも果皮が薄く果実の裂果もあり、根域制限での養液施肥等に難しさがあり、早急にその栽培法の確立が重要である。特に新品種に対応する栽培法は未確認な要素が多く、難しさがある。 また、これらの栽培と合わせ、「植物調節剤の利用法」など総合的な根域制限栽培法として、早急に確立できる技術体系化を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	果樹花き研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ブドウの根域制限栽培については、関東では茨城県農業総合センター園芸研究所にて先進的な研究がなされています。茨城県は、神奈川県と同じく火山灰土地帯であり、施設を利用した欧州種ブドウの根域制限栽培については、ジベレリンやホルクロルフェニユロンなどの植調剤の利用法を含めた栽培管理技術がほぼ確立し、現地へも普及しています。 そこで、これら他県で得られた知見を応用することで、本県における、植調剤の利用法を合わせた総合的なブドウの根域制限栽培技術については、十分に対応が可能であると考えられます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			